

国際協力機構（JICA）の日系社会青年ボランティアとして、南米のボリビアに派遣される吐山知志さん（園部町）が、6月16日南丹市長を表敬訪問されました。

吐山さんは、インドネシアの大学での日本語教師経験を生かし、ボリビアのラ・パス日本人会日本語普及学校で2年間、現地教師の育成指導や上級クラスの生徒への指導にあたられます。「ボリビアと日本の友好親善に貢献したい」との抱負を胸に赴任されました。



▲市長の激励を受け、握手を交わす吐山さん（左）

「ボリビアの日本語教育普及を支援 吐山知志さん、親善の架け橋に」

（6 / 16 日系社会青年ボランティア派遣）



美山町知井の美山山村留学センターで、1泊2日の「夏の体験留学」が実施されました。小学1年から4年生の8人の子どもたちが大阪府、滋賀県、京都市内から参加。初めて会った子ども同士、指導員やスタッフとも、わずかな時間でずっと一緒にいる仲間のように仲良くなりました。センター近くの清流での川遊びやスイカ割り、自分たちでトラップ（わな）を作って虫捕りや魚つかみ、野菜の収穫や飯ごう炊さんなど、自然あふれる山里で生き生きと元気いっぱい活動しました。

子どもたちは、全身で豊かな自然を感じ、2日間の思い出を胸に、夏色を増してそれぞれ住むまちへと帰っていきました。

当センターでは、夏と冬に体験留学生、そして1年間の長期留学生を受け入れられています。

「僕らの夏休み！山里での1泊2日」

（8 / 2 / 3 美山山村留学センター「夏の体験留学」）



▲河原でスイカ割り「ちゃうちゅう！こっち！」「どっち?!」

「手作りの紅白の玉 運動会で使ってたね」

（8 / 26 「ふれあい教室」 保育所に紅白玉寄贈）



◀「たくさん入って、おもしろい！」

南丹市生きがい活動支援通所事業として月に4回開催している園部北部コミュニティセンターの「ふれあい教室」では、元桐地域の高齢者12人が集い、軽い運動や絵手紙、陶芸などを通して楽しく交流されています。その活動の中で、社会貢献の一つとして地域の保育所の運動会で使う紅白の玉作りをしようと、6月下旬から始められました。できあがった100個の紅白の玉は、8月26日に教室参加者から園部保育所の園児たちへ手渡され、園児からはお礼に歌が贈られました。

お詫びと訂正 広報なんたん6・7月号の記事に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。
4～5ページ…
（誤）西胡麻地区消防協力隊⇒（正）西胡麻区消防協力隊